## 自分の腎臓を守るためにできること② ~慢性腎臓病と食事の関係~

自治医科大学附属病院 管理栄養士 川畑奈緒

## はじめに

腎臓の機能が低下することを予防するには、血圧、血糖、血中脂質などのリスク因子の管理とともに、 食塩摂取量、喫煙習慣などの生活習慣の管理が重要です。しかし、腎機能が低下した人のうち、過去に腎 臓病と言われたことのある人の割合は少なく、特に血圧の降圧目標を達成している率が低く、食塩摂取量 が目標値を超える者が多かったことが明らかにされています<sup>1)</sup>。今回は、腎機能の低下を防ぐための食事 について、ご紹介します。



## 慢性腎臓病の食事療法

慢性腎臟病 (Chronic Kidney Disease、 以下CKDと略します)の食事は、腎臓の重 症度を表すステージ(表1)によって内容 が異なります2)。間違った食事制限は無意 味なうえ、逆効果になることもありますの で、注意しましょう。自分の腎臓がどのス テージに当てはまるかは、広報しもつけ4 月号26~27ページも併せてご覧ください。

#### 腎臓の重症度ステージと食事摂取基準 表 1

GFR (糸球体濾過量) に 基づく区分	G1	G2	G3a	G3b	G4	G5
進行度による分類GFR (mL/分/1.73m²)	90以上	60~89	45~59	30~44	15~29	15未満
重症度の説明	正常または 高値	正常または 軽度低下	軽度低下~ 中等度低下		高度低下	末期腎不全
エネルギー			BMI 25k	g/m²未満		$\Rightarrow$
食塩			減塩	3g/日以	上、6g/E	1未満
たんぱく質			G3b	たんぱく G3a:0.8 ~G5:0.6	3~1.0g/k	g/日 g/日
カリウム				G3k	フリウム制 o:2000mg o:1500mg	/日以下

日本腎臓学会編「CKD ステージによる食事療法基準2014年版」を基に改編

1

いは

ス

トフォ

## (1) 腎機能が正常から軽度低下のとき

CKDの発症や進行には、肥満、高血圧、高血糖、脂 質異常症が関係していることから、食事のポイントと して、「減塩 | 「適正なエネルギー | 「栄養バランスのと れた食事」「節酒」を心がけることが重要になります。

### ①減塩

食塩の摂り過ぎは、CKDに影響を与えるといわれて います。食塩の摂り過ぎは高血圧を引き起こす原因の 一つであり、高血圧そのものがCKD発症の原因とな ります。さらに、食塩を摂り過ぎると、腎臓の表面に ある糸球体という、ろ過によって血液中の毒素を尿中 に捨てている細い血管の血圧が高くなり、たんぱく尿 を増強させ、腎機能を低下させることも報告されてい ます。このため、「減塩」はCKDの発症や進行を防ぐ ために重要です。しかし、自分がどれくらいの食塩を 摂取しているか、実際の摂取量を把握することは大変 困難です。そこで、「あなたの塩分チェックシート(図 1) | 3) で、食塩の摂取状況を把握し、得点の高い項目 の摂取頻度を減らしましょう。

# ②適正なエネルギーと栄養バランスのとれた食事

あなたの塩分チェックシート 当てはまるものに○をつけ 最後に合計点を計算してください。 みそ汁、スープなど ø - 3 回 / 通 よく食べる 届会で外会やコンビニ弁当などを利用しますから ULUMB B 3回/道<6 利用しな 夕食で外食やお惣菜などを利用しますか? 3回/週<6 利用しない 人より少なめ 0.4 습타류 0~8 食塩はあまりとっていないと考えられます。引き続き減塩をしましょう 食塩摂取量は多めと考えられます。食生活のなかで減塩の工夫が必要で 20以上 食塩摂取量はかなり多いと考えられます。基本的な食生活の見直しが必要です

あなたの塩分チェックシート

肥満はCKDの発症に深く関与しています。特に内臓脂肪型肥満になると、アルブミン尿(たんぱく尿の 一種)が出やすくなることが知られています。肥満の人は糖尿病や高血圧症を合併していることも多く、 体重を適正に管理することが重要です。したがって、BMI\*1が25 kg/m2以上の人は食べ過ぎに注意しま しょう。また、主食(ごはん、パン、めん)、主菜(肉、魚、卵、大豆)、副菜(野菜、海藻、きのこなど) をそろえることで栄養バランスのとれた食事になります。またCKD患者さんにおいて、果物、野菜、魚介 類、豆類、穀類および食物繊維が多く、肉類や食塩、精製糖が少ない食事パターンは、総死亡の低下と関

※1 BMI(体格指数)は、体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で求めます。

連することが報告されています4)。